

令和6年度新宿区立富久小学校学校経営方針 概要

教育目標

「教養と礼儀を身に付け 勇気をもって前向きに生きる 富久の子」

目指す学校像 「和やか 柔らか さわやか 活気あふれる富久小学校」

安心できる学習

- ・分かるという安心
 - ・分かるまで教えてくれる安心
 - ・先生や友達が認めてくれる、受け入れてくれる安心
 - ・自分自身を表現できる安心
- そのために
カリキュラム・マネジメントによる、効果的な指導計画と活用する・考える力の育成を図る。
- ① 主体的、対話的な深い学びへのアプローチ
「ワクワク・ドキドキ
・生き生き、心が動く」
学びのプロセス構築
 - ② 振り返り、自己評価ができる授業
 - ③ 話し合いを重視した授業
思考ツールの活用
 - ④ 情操教育の充実
音楽や図工と他教科との関連を重視した計画
 - ⑤ 読書活動の推進
○図書館の充実を図る。地域、保護者の方々との連携(図書館に大人がいない時間を「0」にする。
 - ⑥ 習熟度別指導の充実

寛容で人間性豊かな心

- 教養と礼儀
- ただ単に、知識や技能を教養ととらえるのではなく、その人の内面からあふれ出てくる、人としての「やさしさ」「強さ」「厚み」「深さ」等の基礎を学習や生活の中で身に付ける。
- 世界で通用する
- 立ち居振る舞い
(目に見える、聞こえる)
 - ・感謝 ・あやまること
 - ・礼儀 ・言葉遣い ・表情
 - ・姿勢 ・服装、身だしなみ
 - ・食事のマナー・時間を守る
- 寛容な心
(目に見えない、心に残る)
- ・受け容れ、許す
 - ・認める、高め合う
 - ・感謝し、人を敬う
 - ・謙虚に自己を見つめる
- 特別の教科 道徳を核とした道徳教育の推進
- いじめをしない、させない、ゆるさないの徹底
- ・時には、厳しい叱責と受け入れ、分かるまで諭す指導
 - ・家庭との連携

勇気をもって前向きに生きる

- 失敗を恐れず、挑戦する。勇気をもって再度挑戦する
 - 失敗は新たな力をつけるためのスタートライン そのスタートラインにもう一度立つ勇気をもてるようにする。
 - 前向きに生きるための体力
測定ができる体力や、運動の技能のみを体力としてとらえず、健康に明るく前向きに生きるための基礎を身に付ける。
 - ☆心と体の自立 健康教育(健康の自己管理能力)
 - 体育科を中心とした健康教育
 - 基本的生活習慣の確立
 - ・睡眠、食生活、保健衛生
 - ・SNS、ゲーム等の課題
依存症にならないために
 - ・総合的な学習の時間や生活科、体育科、特別活動と連携した食育や保健指導
 - 体力向上(行動、防衛)
 - ・コーディネーショントレーニングを取り入れた体育学習
- 心の健康
SCを活用した心に寄り添う指導体制

- OGIGAスクール構想への対応
- ・健康面への配慮
- ・家庭学習への活用 児童の発達段階にあった活用
- 教科担任制の導入 高学年で実施 全校で、給食担任制の試行 学年TT制の試行
- 学年で子供たちを見る 観る(観察) 診る(診断) 看る(世話) 視る(調査)

地域・PTAとの連携

地域の人材を活用して「ひと」「もの」「こと」から学ぶ授業を展開
地域協働学校運営協議会との連携、町探検やお店調べ・町の歴史等、地域に根差した学習